

# 周南公立大学経済波及効果推計業務 仕様書

## 1 目的

周南公立大学が立地することによる周南市への経済波及効果を推計し、今後の大学運営及び政策立案の基礎資料とすること。

## 2 業務場所

周南市内

## 3 業務期間

契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで

## 4 業務内容

### (1) 周南公立大学在学生の消費行動調査の実施

- ・経済波及効果推計の基礎資料とするため、周南公立大学に在学する学生の消費行動を把握する調査を実施する。

i) 調査方法	・調査票（印刷物）の配布・回収及びオンライン回答による、無記名アンケート調査
ii) 実施方法	・受託者は、調査票の設計、オンライン回答フォームの作成、回答データの入力・集計・分析を行う。 ・委託者にて、調査票（印刷物）の配布・回収を行う。
iii) 調査対象	・調査時点で周南公立大学に在学する全学生及び周南公立大学に在籍する教職員
iv) 調査項目	・居住地 ・年間の収入と支出金額 ・品目別の買い物先地域、サービスの利用先地域

### (2) 周南公立大学の経済波及効果の推計

- ・周南市産業連関表（※1）を用いて、周南公立大学が立地することによる周南市内への経済波及効果を推計する。
- ・経済波及効果の推計項目は次のとおりである。

推計項目	・最終需要増加額、直接効果、間接一次効果、間接二次効果 ・生産誘発効果、付加価値誘発効果、雇用誘発効果、市税増収効果
------	---

※1 【周南市ホームページ内で産業連関表を掲載しているページの URL】

<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/2/58640.html>

・次の①から⑤について、経済波及効果を推計する。

①令和6（2024）年または令和7（2025）年（※2）における、大学の事業活動等から生じる経済波及効果

推計対象	i) 大学の事業活動から生じる効果 ii) 教職員の支出から生じる効果 iii) 在学生の支出から生じる効果
基礎資料	i) 委託者が提供する大学事業費 等 ii) 上記(1)の調査結果

※2 ②の効果推計のために必要とするものであり、どちらで推計するかは提案者に委ねる。

②令和9（2027）年度に収容定員が1,920名となった場合に、大学の事業活動等から生じる経済波及効果

推計対象	上記①に同じ
基礎資料	上記①に同じ

③現キャンパス内で施設の改修や新設をした場合に、施設改修費等から生じる経済波及効果

推計対象	i) 施設改修費、建設費から生じる効果
基礎資料	i) 委託者が提供する事業計画・事業費見込額 等

④まちなかにキャンパスを一部移転した場合（※3）に、キャンパス建設費および大学の事業活動等から生じる経済波及効果

推計対象	i) キャンパス建設費から生じる効果 ii) 大学の事業活動から生じる効果 iii) 教職員の支出から生じる効果 iv) 在学生の支出から生じる効果
基礎資料	i) 委託者が提供する事業計画・事業費見込額 等 ii) 委託者が提供する大学事業費 等 iii) 上記(1)の調査結果

※3 モデルケースとして、「まちなか」は徳山駅周辺都市機能誘導区域内を想定しており、「一部移転」は学生300名程度を想定している。

⑤その他の経済波及効果（独自提案）

【参考資料（周南公立大学の事業計画等）を掲載しているページのURL】

<https://www.shunan-u.ac.jp/about/corporation/plan/>

(3) 報告書の作成

・上記(1)(2)の結果をまとめ、今後の大学運営及び政策立案に資する提案内容を記載した報告書を作成する。